

平成 27 年度 事業内部評価

平成 27 年度に浜松市文化振興財団文化事業課にて開催した鑑賞型事業の内、11 公演について内部事業評価を実施しました。評価指標は前年度事業評価方式を継続して採用しております。

① 実施した内部事業評価項目

■ 目標設定

事業開催目的及び狙い、損益分岐点の設定、予算設定、収益目標額、自主財源投入予定額

■ 事業成果と評価

目的及び狙いの達成度、入場者・参加者・実績値、収支状況

■ 結果確認、改善点および今後の方向性

達成度・実績値・収支状況による総合評価、担当者・所属長による状況分析及び改善点

② 評価点基準及び総合判定基準根拠

I 目標達成度

満足度	アンケート結果による顧客満足度(良い・大変良いの集計)の割合。そのまま評価点に表記。
-----	--

II 参加者等

券売率	当初設定された有効販売数に対する販売実績率。100%で完売。
入場率	有効座席数に対する入場者実績率。100%で満席。
達成率	券売目標率に対する券売率の達成率。100%で目標達成。

評価点は下記の表により決定

	点数
満席	100
目標達成率 101%～満席未満	90
目標達成率 100%～91%	80
目標達成率 90%～81%	70
目標達成率 80%～71%	60
目標達成率 70%～61%	50
目標達成率 60%～51%	40
目標達成率 50%～41%	30
目標達成率 40%～31%	20
30%以下	10

III 収支状況

収入率	当初予定収入額に対する収入実績率。100%以上で収入増。
支出率	当初予定支出額に対する支出実績率。100%以下で経費削減。
財源投入率	当初予定されていた自主財源投入額に対する投入額実績。 100%以下で投入額減少。0%で投入額 0 円、事業単体で収支は黒字。また予定されていなかった投入額については実額で表記するとともに説明を加える。

評価点は下記の表により決定

	点数
完売	100
収支プラス～完売未満	90
収支 0 円～9%減	80
10%減～19%減	70
20%減～29%減	60
30%減～39%減	50
40%減～49%減	40
50%減～59%減	30
60%減～69%減	20
70%減以上	10

※収入には自主財源等を含める

IV 総合判定 評価総合結果の点数により、下記の通り設定

90 点～	AA 卓越した水準
70 点～	A 優秀な水準
40 点～	B 良好な水準だが一部問題あり
20 点～	C 一応の水準だがかなり問題あり
0 点～	D 多くの問題あり

③ 事業評価結果一覧

■ 事業概要						
事業名	浜名梱包クラシックスペシャル アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2015					
開催日・場所	平成27年5月31日、7月19日、9月13日、12月20日、平成28年2月7日 全5回 アクトシティ浜松 音楽工房ホール					
基本方針分類	交わる・育てる (クラシックファン層自身により若手アーティストの育成を支援し、文化交流を深める)					
内容・目標	浜松では、有名なアーティストの演奏会があっても、今後の活躍が期待される若手アーティストの演奏会はまだまだあまり頻繁には開催されていない。実力があり、魅力的な若手アーティストに演奏の機会を提供することで、演奏を聴いた市民が今後の活躍に注目し、音楽への関心を高めていくことを目的としている。 クラシック初心者でも来場しやすい価格設定や、割引いたお得な価格のパスポート(5回通し券)を設定することでリピーターを増やし、クラシックファンの拡大を狙う。 アクトシティオープン以来続けているシリーズであり、平成27年度は100回目の公演を達成。					
■ 事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	91.2%	アンケート回収枚数 387枚 回収率 34.5%			91点	
II 参加者等	券売率	101.9%	目標としていた券売率は達成。5回公演分のパスポートチケットの売れ行き好調。各回の個別チラシを作成し、1回券の販売が毎回ほぼ完売に近い状況。いずれも当初予定上回る。		90点	
	入場率	99.2%				
	達成率	127.4%				
III 収支状況	収入率	115.0%	パスポート、1回券の販売数が伸び収入増。		90点	
	支出率	98.0%	ほぼ当初予算どおりの事業規模。			
	財源投入率	52.3%	チケット収入増のため当初予定より投入額は半額に減少。			
■ 評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A	
質的成果	I 目標達成度	91点	30	27.3点		
量的成果	II 参加者等	90点	40	36点		
	III 収支状況	90点	30	27点		
			合計	90.3点		
状況・改善点	周知が進み、毎回ほぼ満席の状況となっている。 本年は特に100回記念の効果により、前年度に比べ、全体の集客、チケットの売上枚数上昇。100回公演の際、「これまでの軌跡」資料を頒布、シリーズを顕彰できた。 シリーズ開始20年が経過し、今後の新しい展開を検討する必要がある。(アフタートークの進行/開催会場の変更/デュオや室内楽の検討など)					

■ 事業概要						
事業名	ワンコインコンサート					
開催日・場所	平成 27 年 6 月 11 日、7 月 30 日、9 月 17 日、12 月 24 日 全 4 回 アクトシティ浜松 中ホール					
基本方針分類	交わる・育てる (市民の音楽文化満足度を高めるとともに、クラシックファン層の裾野を広げる)					
内容・目標	平日昼間の 1 時間で気軽に聴けるコンサートを実施。国内外で活躍する演奏家のト ークを交えた親しみやすい公演内容でクラシックファンの拡大を目指す。					
■ 事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	89.8%	アンケート回収枚数 1,827 枚 回収率 51.3%			90 点	
II 参加者等	券売率	87.5%	前年度に比較し、約 10 ポイント上昇。シリーズの認知度が向 上し、固定客の増加がみられる。		90 点	
	入場率	88.8%				
	達成率	136.8%				
III 収支状況	収入率	135.5%	入場料収入、物販手数料ともが目標を上回った。		90 点	
	支出率	92.6%	ほぼ当初予算どおりの事業規模。			
	財源投入率	72.8%	入場者数増による収入増により、財源投入率軽減。			
■ 評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A	
質的成果	I 目標達成度	90 点	30	27 点		
量的成果	II 参加者等	90 点	40	36 点		
	III 収支状況	90 点	30	27 点		
			合計	90 点		
状況・改善点	ワンコインコンサースシリーズの周知がすすみ、リピーターが増加している。 集客増により、終演後にアクティシティ内レストランへの流客も増え、アクティシティ全体の活 性化に貢献している。(レストラン利用者数 H25:995 人、H26:1,042 人、H27:1,335 人) リピーターとあわせて、新規顧客を確保するために、今後も魅力的なラインナップを企 画していく。					

■ 事業概要						
事業名	はままつクラシック・カフェ					
開催日・場所	平成 27 年 4 月 26 日 アクトシティ浜松 中ホール					
基本方針分類	交わる・育てる (市民の音楽文化満足度を高めるとともにクラシックファン層の裾野を拡げる)					
内容・目標	東京で人気の「下丸子クラシック・カフェ」シリーズを浜松で開催。カフェマスター山田武彦さんと常連マダム松本志のぶさん、そしてゲストは映画「おくりびと」でテーマ曲のソロ演奏をしたチェリストの古川展生さんが織りなす演奏とトークのコンサート。 チケット単価を安価にし、気軽に足を運んでもらえるようにし、新しい客の開拓をする。					
■ 事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	80.0%	アンケート回収枚数 190 枚 回収率 43.6%			80 点	
II 参加者等	券売率	34.0%	券売が目標を大きく下回った。演奏会の趣旨を的確に広報しきれなかった。		30 点	
	入場率	44.4%				
	達成率	49.0%				
III 収支状況	収入率	45.3%	券売低調により入場料収入減。		50 点	
	支出率	92.2%	券売低調により事業経費を押さえて運営。			
	財源投入率	199.2%	収入減を財源投入で補填。			
■ 評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 B	
質的成果	I 目標達成度	80 点	30	24 点		
量的成果	II 参加者等	30 点	40	12 点		
	III 収支状況	50 点	30	15 点		
			合計	51 点		
状況・改善点	演奏会の趣旨がわかりにくく、入場者数が伸び悩んだ。PR の方法を再検討し、端的にどんな演奏会なのかわかるような広報物作成が必要。 演奏会の選定において、来場者のニーズに合った公演内容を見極める必要がある。					

■ 事業概要					
事業名	ルパンジャズライブ 大野雄二&ルパンティック・ファイブ				
開催日・場所	平成 27 年 5 月 30 日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる（市民の音楽文化満足度を高める）				
内容・目標	ルパン音楽生みの親であり、ジャズピアニストの「大野雄二」率いる「大野雄二&ルパンティック・ファイブ」が繰り広げるグルーヴィーでスタイリッシュなジャズライブ。ジャズファンの多い浜松地域のニーズを満たすとともに、ジャズ初心者でもなじみやすい曲でファン層を広げる。				
■ 事業成果と評価					評価点
I 目標達成度(満足度)	90.2%	アンケート回収枚数 286 枚 回収率 31.3%			90 点
II 参加者等	券売率	96.4%	・予想を 20 ポイント上回る券売率。ジャズファン、ルパンのファン双方への広報に成功し、参加促進につながったと推測される。		90 点
	入場率	95.6%			
	達成率	130.0%			
III 収支状況	収入率	139.2%	入場料収入増。		90 点
	支出率	100.5%	ほぼ当初予算どおりの事業運営。		
	財源投入率	1.0%	実質財源投入 0 円。事業収入のみで運営。		
■ 評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	90 点	30	27 点	
量的成果	II 参加者等	90 点	40	36 点	
	III 収支状況	90 点	30	27 点	
			合計	90 点	
状況・改善点	「ルパン」という根強い人気番組と、市内で関係者の多いジャズというジャンルの組み合わせと、公演内容がわかりやすい広報により、チケットはほぼ完売。来場者層の需要を的確に掌握できた成功事業例となった。今後の事業採択の参考にする。				

■ 事業概要					
事業名	ストラディヴァリウス サミットコンサート2015				
開催日・場所	平成 27 年 6 月 2 日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる・伝える(市民の音楽文化満足度を高め、伝統と歴史を次世代に伝える)				
内容・目標	名器ストラディヴァリウス 11 台を使用したベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のトップメンバーによる室内楽コンサート。 2013 年に続く 3 回目の浜松公演。良質で人気の高い公演を浜松に招聘し、市民の文化的需要を満たす。				
■ 事業成果と評価					評価点
I 目標達成度(満足度)	80.0%	(共催団体が管理)			80 点
II 参加者等	券売率	80.5%	前回公演実績を下回るものの、当初見込みを上回り、収益分岐点を超えた。		80 点
	入場率	80.4%			
	達成率	106.0%			
III 収支状況	収入率	97.7%	入場料収入やや増。		90 点
	支出率	124.2%	ほぼ当初予算どおりの事業運営。		
	財源投入率	0%	財源投入なし。事業収入で運営。		
■ 評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	80 点	30	24 点	
量的成果	II 参加者等	80 点	40	32 点	
	III 収支状況	90 点	30	27 点	
			合計	83 点	
状況・改善点	<p>前回来場者にアピールするため、会場を音質のより高い中ホールに設定するなど公演に変化をつけた。しかし、座席数とその分減少、チケット収入のリスクにつながった。音響面を採るか、入場率・券売率を採るか、両方の実現が可能な選択を次回の課題としたい。</p> <p>内容・質は十分に申し分ないので、引き続き開催の方向で検討し、更なる新規顧客を確保したい。</p>				

■ 事業概要					
事業名	ペレス・プラード楽団				
開催日・場所	平成 27 年 7 月 2 日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる(市民の音楽文化満足度を高める)				
内容・目標	<p>“マンボの王様”ラテン・ミュージックの重鎮として、長い間君臨し、ラテン音楽会に功績を残したペレス・プラード楽団による演奏。 根強いファンがいるジャンルであり、クラシック以外の音楽層への鑑賞機会提供を図る。</p>				
■ 事業成果と評価					評価点
I 目標達成度(満足度)	88.1%	アンケート回収枚数 176 枚 回収率 27.7%			88 点
II 参加者等	券売率	65.9%	想定来場者層(60 代以上)への販売促進として紙媒体を活用、当該年齢層への広報は成功したが、他年齢層への広報が苦戦し、やや目標を下回る数値となった。 来場者アンケートの満足度は高い評価。		70 点
	入場率	65.7%			
	達成率	85.0%			
III 収支状況	収入率	104.1%	リスクのないマネジメント共催事業方式を採択。(招聘事務所が収支差益管理)		90 点
	支出率	2.5%			
	財源投入率	0%			
■ 評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	88 点	30	26.4 点	
量的成果	II 参加者等	70 点	40	28 点	
	III 収支状況	90 点	30	27 点	
			合計	81.4 点	
状況・改善点	<p>入場率は 6 割と前回に比べ低調であったが、マネジメント事業であったため、収支の赤字は免れた。 広報においては、高齢者層をターゲットとし、新聞広告などの紙媒体告知を行った。 財団事業ではあまり展開しないジャンルの公演であるが、一定の需要がある。今後もリスクのないマネジメント形式で類似公演を実施していきたい。</p>				

■ 事業概要						
事業名	ロシア国立交響楽団					
開催日・場所	平成 27 年 7 月 10 日 アクトシティ浜松 中ホール					
基本方針分類	交わる・育てる (市民の音楽文化満足度を高めるとともにクラシックファン層の裾野を広げる)					
内容・目標	「ロシアで最も優れた交響楽団」と評されるロシア国立交響楽団によるオーケストラ公演。ソリストは実力派ヴァイオリニストの木嶋真優。 世界一流の音楽を地元で聴く機会を創出し、クラシックファンの満足度を高めるとともに、市民の文化的需要を満たす。					
■ 事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	91.4%	アンケート回収枚数 245 枚 回収率 32.0%			91 点	
II 参加者等	券売率	74.0%	来場者数が伸び悩み、目標数値に達しなかった。		70 点	
	入場率	78.0%				
	達成率	81.0%				
III 収支状況	収入率	79.5%	入場料収入減。		90 点	
	支出率	80.5%	入場料収入減を見込み、事業経費を押さえた。			
	財源投入率	83.5%	事業経費縮小により、財源投入額は当初を下回った。			
■ 評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A	
質的成果	I 目標達成度	91 点	30	27.3 点		
量的成果	II 参加者等	70 点	40	28 点		
	III 収支状況	90 点	30	27 点		
			合計	82.3 点		
状況・改善点	集客が伸びなかった要因として、会場が中ホールだったことによるチケット単価割高感が発生したことが考えられる。音響的には中ホールの方が大ホールより良質だが、多角的な観点から会場選択する必要がある。(ストラディヴァリウス公演でも同様の課題が発生)					

■ 事業概要						
事業名	松竹大歌舞伎(昼の部・夜の部) / 歌舞伎プレセミナー					
開催日・場所	平成 27 年 9 月 2 日 アクトシティ浜松 大ホール(中規模) (歌舞伎プレセミナー: 平成 27 年 8 月 9 日 コンgressセンター)					
基本方針分類	育てる・伝える(歌舞伎鑑賞の機会を提供し、市民の文化的満足度の向上及び日本伝統芸能を次世代につなげる)					
内容・目標	毎年恒例となっている松竹大歌舞伎公演。出演は、坂田藤十郎、中村鴈治郎、市川左團次、中村扇雀、ほか。大都市でなくとも歌舞伎の鑑賞機会を提供。公演前に初心者向けセミナーも開催。 固定来場者の需要を満たすとともに、若年層向けチケットを設定し幅広い年齢層の集客を高める。地域工芸店・和菓子店舗とも提携し、地域活性化を図る。					
■ 事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	76.9%	アンケート回収枚数 460 枚 回収率 23.0%			77 点	
II 参加者等	券売率	66.7%	例年に比べると演目・演者ともに固定客へのアピールが弱く、券売に影響した。		70 点	
	入場率	67.5%				
	達成率	83.0%				
III 収支状況	収入率	88.5%	入場料収入減。		80 点	
	支出率	89.7%	入場料収入減をみこみ、事業経費を押さえて運営。			
	財源投入	175 千円	当初投入予定 0 円のところ、収入減のため投入。			
■ 評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定	
質的成果	I 目標達成度	77 点	30	23.1 点		
量的成果	II 参加者等	70 点	40	28 点	A	
	III 収支状況	80 点	30	24 点		
			合計	75.1 点		
状況・改善点	<p>演者と演目の選定は松竹側にあるため、年度によりややマイナーな巡業公演となることがあり、本年はそれに該当。翌年度以降の好条件演者の浜松招聘につなげていく。</p> <p>「歌舞伎プレセミナー」は、初心者你来場機会に直結するだけでなく、既存来場者の評価も高いので、今後も実施の方向で検討。</p> <p>あわせて地元工芸・和菓子店との提携や、若年層への販売促進に引き続き力をいれていく。</p>					

■ 事業概要						
事業名	ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ「魔笛」					
開催日・場所	平成 27 年 10 月 9 日 アクトシティ浜松 大ホール(中規模)					
基本方針分類	育てる・交わる(市民の文化的満足度の向上とともに、世界第一級の名門劇場によるオペラの鑑賞機会の提供)					
内容・目標	ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場はモーツァルト・オペラ全 21 作品全てを常時上演できるなど、モーツァルトのオペラを鑑賞するのにふさわしい劇場。 本劇場公演を浜松で実施することで市民の文化的満足度につなげる。					
■ 事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	80.6%	アンケート回収枚数 335 枚 回収率 29.0%			81 点	
II 参加者等	券売率	73.4%	前年に引き続き、オペラ学生券を導入。券売率は当初予算をやや上回った。		80 点	
	入場率	81.1%				
	達成率	103.0%				
III 収支状況	収入率	87.2%	低額券の売り上げが多く、収入増につながらなかった。		80 点	
	支出率	92.8%	入場料収入減をみこみ、事業経費を押さえて運営。			
	財源投入率	100.0%	当初予算額どおり。			
■ 評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定	
質的成果	I 目標達成度	81 点	30	24.3 点		
量的成果	II 参加者等	80 点	40	32 点	A	
	III 収支状況	80 点	30	24 点		
			合計	80.3 点		
状況・改善点	<p>本公演には、企業協賛による特別協賛があったので、学生向け「あしながチケット」に適用した。海外の本格的オペラを浜松地域で開催しているのは当財団だけであるため、利用料金収入財源や企業協賛を活用していく。</p> <p>学生券は全体のチケット単価が下がるリスクがあるものの、若年層のオペラ鑑賞機会創出につながることから、設定枚数や価格について検討しながら収支面を考慮して検討を続ける。</p>					

■ 事業概要						
事業名	チェコ・フィルハーモニー管弦楽団					
開催日・場所	平成 27 年 11 月 2 日 アクトシティ浜松 大ホール					
基本方針分類	育てる・交わる (市民の文化的満足度の向上とともに、世界で活躍するピアニストの演奏を聴く機会の提供)					
内容・目標	歴史を誇るオーケストラによる公演。ソリストは、2011 年 A.ルーヴィンシュタイン/チャイコフスキー・コンクール第 1 位を獲得した、ダニール・トリフォノフ。 世界一流の音楽を地元で聴く機会を創出し、クラシックファンの満足度を高めるとともに、市民の文化的需要を満たす。					
■ 事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	90.3%	アンケート回収枚数 259 枚 回収率 25.0%			90 点	
II 参加者等	券売率	62.4%	券売が当初見込みを下回った。東京、名古屋等と比べて安価設定にしたが効果がみられなかった。		70 点	
	入場率	65.9%				
	達成率	89%				
III 収支状況	収入率	--	当初は共催負担契約方式だったが、一部直接経費に変更したため、当初予算との比較せず。		80 点	
	支出率	--				
	財源投入率	103.4%	財源投入額は当初予算をやや上回った。			
■ 評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A	
質的成果	I 目標達成度	90 点	30	27 点		
量的成果	II 参加者等	70 点	40	28 点		
	III 収支状況	80 点	30	24 点		
			合計	79 点		
状況・改善点	良質の公演で東京/名古屋公演はほぼ完売だったが、浜松公演ではチケット単価を下げたものの集客につながらなかった。 選曲・単価を含め、浜松の需要を研究していく必要がある。					

■事業概要						
事業名	おかあさんといっしょ「ポコポッテイトがやってきた！！」(2回公演)					
開催日・場所	平成28年2月21日 アクトシティ浜松 大ホール					
基本方針分類	育てる・交わる (就学前のこどもと保護者がわかりやすく舞台公演を楽しむことができる機会の提供及び市民の文化的満足度の向上)					
内容・目標	NHK 番組「おかあさんといっしょ」の劇場版。ファミリーで楽しめるプログラムに仕立てられている。 歌や人形劇、身体表現を通して幼児の情操教育を促し、今後の音楽/舞台芸術に関心を持つきっかけとなることを目的とする。					
■事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度(満足度)	74.2%	アンケート回収枚数 249枚 回収率 8.4%			74点	
II 参加者等	券売率	88.0%	完売を目標としたが、券売が伸び悩み、目標数値の8割にとどまった。		70点	
	入場率	82.5%				
	達成率	88.0%				
III 収支状況	収入率	88.1%	当初見込みに達せず。		80点	
	支出率	97.0%	ほぼ当初予算額。			
	財源投入	805千円	投入予定0円のところ、収入減のため投入。			
■評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定	
質的成果	I 目標達成度	74点	30	22.2点		
量的成果	II 参加者等	70点	40	28点	A	
	III 収支状況	80点	30	24点		
			合計	74.2点		
状況・改善点	<p>チケット価格が安く(全国均一料金)、完売を目標としたが、完売に至らず財源投入(赤字補填)が発生した。</p> <p>チケット価格単価引き上げが契約上困難なため、予算組みの段階で公演料の値引き交渉及び徹底的な経費削減が必要である。</p> <p>出演者や選曲内容について、番組現役でなかったことに保護者から不満がでた。チケット販売にも影響したとみられ、次回の採択の検討材料とする。</p>					

2 外郭団体コミットメントの提出について

(1) 概要

「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」に基づき、平成 26 年～28 年度を計画期間とする「外郭団体コミットメント」を年度ごとに浜松市に提出・更新しておりますが、その平成 28 年度更新案を作成し、市に提出するものです。

(2) 浜松市より浜松市文化振興財団に提示されている事項

■外郭団体に期待する役割

市は、浜松市文化振興ビジョンに「音楽の都・浜松」の推進を掲げており、(公財)浜松市文化振興財団には、これまで培ってきたノウハウを活用し、本市の音楽文化を都市資産として市内外に幅広く発信するとともに、「音楽の都・浜松」を牽引していく外郭団体として、高度な舞台芸術の提供や次代を担う人材育成、市内各所における音楽交流の推進を期待します。

■外郭団体に求める事業等の目標

市は、浜松市文化振興ビジョンにおける基本目標を実現するため、(公財)浜松市文化振興財団に対し以下のことを求めます。

①「音楽の都・浜松」の牽引

「音楽の都・浜松」を市内外に発信する高度な舞台芸術の提供と次代を担う人材育成に積極的に取り組む。

②中間支援組織の機能強化と市民の芸術文化活動の自立支援

市と文化団体及び文化団体同士の活動をつなぐ中間支援組織としての機能を強化するとともに、市民が主体となって行う文化・芸術活動の自立に向けた機動的な支援や、市内全域の文化活動や情報の収集及び提供の充実を図る。

③すべての市民が文化を享受するための取組み

商業ベースに乗らない分野の文化活動や地理的条件等に拘らず、すべての市民が文化を享受するための取組を進める。

(3) 浜松市に対する浜松市文化振興財団のコミットメント

■理念

浜松市文化振興ビジョンに示されたミッションを果たしていく。

■ビジョン（コミットメント期間において目指す基本方向）

浜松市の芸術文化活動に関わる様々な組織のプラットフォームとしての機能など、中間支援組織としての役割強化を図ることとあわせ、先端的な創造・発信に関わる事業に取り組み「創造都市・浜松」を牽引する。

■コミットメント概要

1	良質な鑑賞型事業の実施
2	中間支援組織としての機能強化
3	「創造都市・浜松」の牽引

浜松市文化振興財団 コミットメント提出案 (平成 28 年度)

コミットメント名			評価指標					
1	組織	良質な鑑賞型事業の実施	評価 A 判定事業の割合					
概要	平成 24 年度から実施している鑑賞型事業に対する事業評価制度を継続します。平成 26 年度からは有識者による外部評価員を加え、今後の事業企画・運営に活用します。	区分	単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
		計画	%	88	85	85	85	85
		実績						
コミットメントを達成するための取組内容及び期限	従来の内部評価に加え、平成 26 年度より取り組んできた外部評価システムによる報告書が平成 27 年度末に完成しました(静岡文化芸術大学文化政策学部による委託研究事業。H26 事業を評価)。H28 年度からは本報告書も今後の事業運営・採択の指針に取り入れます。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	良質な鑑賞型事業の実施にむけて法人が持つ事業企画ノウハウを顕在化するために、事業の採算性、広報・販促プロセス等を検証する事業評価制度を導入することが必要です。							
評価指標の過年度結果分析及び平成 28 年度の目標水準の設定根拠	【過年度分析】 内部評価：平成 24 年度は 8/9 事業、平成 25 年度は 11/13 事業、平成 26 年度は 11/13 事業、平成 27 年度は 10/11 事業で評価 A 判定となりました。 外部評価：(平成 26 年度事業)事業の存在意義、内容、実施結果について「総じて良好」と評価されました。課題として、料金設定、開催日程、来場者層の偏り、広報手法、資金・収支の不安定性などが挙げられました。							
	【目標水準の根拠】 平成 28 年度においては、外部評価の課題も念頭に当該年度事業実施と次年度以降の事業を計画し、現水準の維持・向上を図ります。							
コミットメント名			評価指標					
2	公益	中間支援組織としての機能強化	演奏家マッチング数					
概要	浜松在住の演奏家と公演開催希望者とのマッチング事業を行い、地域における演奏家活動の活発化、演奏会機会の増加、市内広域での芸術文化事業の実施を支援します。	区分	単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
		計画	件	56	145	191	80	100
		実績						
コミットメントを達成するための取組内容及び期限	平成 26 年度中にウェブサイト上に演奏家や公演開催希望者からの受付窓口を開設しました。平成 28 年度においては、演奏会主催者開拓や NPO 法人等との連携に努めます。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	「すべての市民が文化を享受する」ための取り組みとして、浜松市内で開催される芸術文化公演数を増やしますとともに、浜松で活動する演奏家に演奏の機会を提供します。							
評価指標の過年度結果分析及び平成 28 年度の目標水準の設定根拠	【過年度分析】 H27 年度は大口演奏会主催者の予算減があったものの、NPO 法人との連携や大型事業の派生コンサート・アウトリーチ公演で地域演奏家を活用したことにより、計画を上回る実績となりました。							
	【目標水準の根拠】 H28 年度も大口演奏会主催者の予算縮小が見込まれること、大型事業の開催年にあたらぬこと、ただし NPO 法人等との連携継続を図ることで、H27 計画をやや上回る数値とします。							
コミットメント名			評価指標					
3	公益	「創造都市・浜松」の牽引	市の策定する創造都市推進事業の共催・受託本数					
概要	これまで培った人的ネットワークや事業開催ノウハウを活用し、浜松市が進める「創造都市・浜松」実現のために必要な芸術文化事業を、浜松市と連携して開催します。	区分	単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
		計画	件	-	-	-	6	4
		実績						
コミットメントを達成するための取組内容及び期限	浜松市が推進する創造都市ネットワーク加盟事業に資する事業、特に浜松から世界に発信する芸術文化事業の企画制作や芸術文化事業に関する他都市との連携事業等を、浜松市と連携し実施します。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	先端的な創造・発信に関わる事業に取り組み、「創造都市・浜松」を牽引します。							
評価指標の過年度結果分析及び平成 28 年度の目標水準の設定根拠	【過年度分析】 ポローニヤ市音楽文化都市交流事業、世界創造都市フォーラム in Hamamatsu、浜松楽器メーカーズフェスティバル、パークリー音楽大学事業、都市間交流事業等、市と共催して創造都市推進事業を実施しました。							
	【目標水準の根拠】 平成 28 年度は、世界音楽の祭典 2016 を市と共催し、実働機関として大会成功を図ります。							